

# 平成22年度事業報告

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

社団法人 東京都空手道連盟

## 1 空手道の講習会及び講演会の開催

空手道を究明し、その実践活動を通して広く斯道の普及、啓発を図り、豊かな肉体と精神を涵養<sup>かんよう</sup>することにより、心身の健全な発展に寄与することを目的とした講習会、講演会を開催した。

日付	事業名	会場名	備考
平成22年7月10・11日	都道府県強化選手合宿	国士舘大学鶴川校舎第3体育館	200名
平成22年5月～12月	強化練習	国士舘大学・日本空手道会館	延べ700名

## 2 空手道大会の開催

生涯スポーツとしての観点から、幼年から中高年層を対象とした空手道大会を開催した。大会の実施に当たっては、広く会員に参加を呼びかけ、大会の成功と内部組織の充実強化を図った。

日付	事業名	会場名	役員・審判員等	参加選手
平成22年5月9日	第63回都民体育大会	東京武道館	81名	41チーム
平成22年5月31日	第24回東京都小学生空手道選手権大会	東京武道館	129名	2,254名
平成22年6月14日	第40回東京都空手道選手権大会	東京武道館	132名	728名 10チーム
平成22年7月19日	第24回中学生・幼年空手道選手権大会	東京武道館	120名	881名
平成22年11月28日	第17回シニアオープン空手道大会	新宿コズミックセンター	51名	444名

## 3 公認指導員及び審判員の養成並びに資格認定

(1) 公認指導員講習会を実施して優秀な指導者を育成するとともに、公認指導員有資格者については、上級の資格を取得すべく、文部科学省及び財団法人日本体育協会並びに財団法人東京都体育協会のスポーツ指導員講習会へ受講者を派遣した。

日付	事業名	会場名	参加者
平成22年10月～23年1月	スポーツ指導員養成講習会	荒川スポーツセンター他	受講者52名
平成23年2月6日	東京都公認指導員講習会	日本空手道会館	新規23名 更新38名

(2) 公認審判員講習会を実施して審判員を育成し、審判レベルを向上させるために、財団法人全日本空手道連盟の主催する地区及び全国公認審判員講習会へ受講者を派遣した。

日付	事業名	会場名	受講者
平成22年3月28日	第1回審判団編成講習会	東大和市民体育館	全国24名 地区24名 A4名 B3名
平成22年4月4日	第2回審判団編成講習会	日本空手道会館	全国27名 地区23名 A6名 B5名
平成22年5月2日	東京都公認審判員講習会	日本空手道会館	更新者含 A16名 B26名 区郡市26名
平成22年5月2日	女子組手審判員講習会	日本空手道会館	
平成23年2月6日	全空連指定形講習会	日本空手道会館	201名

#### 4 公認段位審査会の開催

少年(8歳～15歳)の初段位・弐段位及び16歳以上の初段位から参段位までの公認段位審査会を主管・実施に加え、上級の公認段位を取得すべく、講習会などを開催し、財団法人全日本空手道連盟の主催する公認段位審査会への受審者を派遣した。

日 付	事 業 名	会 場 名	受 審 者	合 格 者
平成22年4月18日	春季公認段位審査会	日本空手道会館	少初55名 少弐4名 初48名 弐22名、参23名	少初55名、少弐4名 初47名 弐22名、参11名
平成22年10月17日	秋季公認段位審査会	日本空手道会館	少初86名、少弐7名 初40名、弐23名、参15名	少初78名、少弐7名 初36名、弐18名、参4名

#### 5 空手道に関する関係諸団体の実施する諸事業に対する協力援助

- (1) 各競技団体(関東学生空手道連盟、東京都高等学校体育連盟空手道部、東京都中学校空手道連盟、東京都スポーツ少年団等)との交流を深め、関連する諸事業に協力した。
- (2) 東京都教育委員会及び財団法人東京都体育協会並びに財団法人全日本空手道連盟等、関係団体の事業に対し積極的に協力した。

##### ①財団法人全日本空手道連盟

日 付	事 業 名	会 場 名	参加者	備 考
平成22年4月3・4日	全空連強化選手選考会	東京武道館	選手10名	
平成22年8月7・8日	第10回全日本少年少女空手道選手権大会	東京武道館	選手48名	男子優勝 女子準優勝
平成22年9月25日	第6回全日本障害者空手道競技大会	ブンブ東京スポーツ文化館	選手6名	
平成22年9月18～20日	日本スポーツマスターズ2010 空手道競技	三重県四日市市中央体育館	選手18名	
平成22年10月2～4日	第65回国民体育大会	千葉県浦安市運動公園総合体育館	選手10名	男女総合4位
平成22年12月11日	第38回全日本選手権大会(団体戦)	東京武道館	2チーム	女子優勝 男子5位
平成22年12月12日	第38回全日本選手権大会(個人戦)	日本武道館	選手4名	動員2,495名
平成23年3月28～30日	第5回全国中学生空手道選抜大会(はまなす杯)	北海道北広島市総合体育館		中止

##### ②財団法人全日本空手道連盟関東地区協議会

日 付	事 業 名	会 場 名	備 考
平成22年7月4日	地区公認形審判員講習会	ぐんま武道館	受審1名 合格0名 更新6名
平成22年7月31日～8月1日	第41回関東空手道選手権大会	ぐんま武道館	総合優勝
平成22年10月23日	第14回関東中学生選手権大会	水戸武道館	参加選手60名 16チーム
平成22年11月20日	地区公認組手審判員講習会	ぐんま武道館	受審16名 合格6名 更新32名
平成22年12月21日	公認四・五段位審査会	ぐんま武道館	四段位=受審24名 合格7名 五段位=受審14名 合格5名
平成23年2月13日	関東地区審判講習会	日本空手道会館	受講者51名

③財団法人日本武道館

日付	事業名	会場名	備考
平成22年7月31日	平成22年度全日本少年少女武道錬成大会	日本武道館	2,500名

④東京武道館

日付	事業名	会場名	参加者
平成22年7月24・25・31日	夏休み親子武道体験教室	東京武道館	24名
平成23年2月11日	第10回東京武道館杯	東京武道館	選手125名
平成23年2月26日	東京武道館錬成講習会	東京武道館	25名

⑤全日本中学校空手道連盟

日付	事業名	会場名	参加者
平成22年8月14・15日	第18回全国中学生選手権大会	宮城県総合体育館	32名

⑥スポーツ少年団

日付	事業名	会場名	参加者
平成22年7月23～25日	第7回関東ブロックスポーツ少年団競技大会	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	180名
平成22年10月23日	東京都スポーツ少年団大会	東京武道館	350名

⑦公認指導員並びに審判員の養成と資格認定

日付	事業名	会場名	備考
平成22年4月17日	全国公認形審判員講習会	大阪府立体育館	受5名 合4名 更1名
平成22年4月10・11日	全国公認組手審判員講習会	日本空手道会館	受23名 合4名 更24名 ランク16名
平成22年7月4日	スポーツ指導員義務講習会	ぐんま武道館	受47名
平成22年9月5日	日体協公認コーチ更新講習	日本空手道会館	受16名
平成22年12月4日	公認六段位審査会	日本空手道会館	受11名 合5名
平成22年12月5日	公認七段位審査会	日本空手道会館	受0名 合0名
平成23年3月6日	公認八段位審査会	日本空手道会館	受3名 合0名

(5)選手選考会の開催

日付	事業名	会場名	参加者
平成22年4月25日	都空連強化選手選考会(成年)	国土舘大学世田谷校舎空手道場	選手80名
平成22年5月13日	都空連強化選手選考会(少年)	国土舘大学世田谷校舎空手道場	選手30名
平成22年6月6日	全国中学生・関東中学生大会代表選手選考会	亀戸スポーツセンター	選手90名
平成22年6月6日	日本スポーツマスターズ代表選手選考会	亀戸スポーツセンター	選手29名
平成22年6月6日	関東大会代表選手選考会	亀戸スポーツセンター	選手21名
平成22年10月14日	全日本大会代表選手選考会	国土舘大学世田谷校舎空手道場	選手22名

6 空手道に関する調査研究

科学的な視点からの空手道全般に対する調査研究を引き続き実施する。

7 空手道に関する刊行物の発行

本連盟の活動内容や事業、関係諸団体や各区郡市本部の諸事業に関しては、ホームページを活用したため、「都空連ニュース」は発行しなかった。

8 その他、この法人が目的を達成するために必要な事業

- (1)財源の確保の基礎となる正会員等の拡大を図った。
- (2)選手権大会及び諸事業を推進させるために、広く財源を求めた。
- (3)区郡市幹事長会議及び同連絡会議を開催して、各区郡市本部からの意見を広く聴取し、それを本連盟の運営に反映させ、組織の強化充実を図るために努力した。

日 付	事 業 名	会 場 名	参 加 者
平成 22 年 5 月 17 日	春季区郡市幹事長会議	都空連事務所	52 名
平成 22 年 11 月 25 日	秋季区郡市幹事長会議	日本空手道会館	53 名

- (4)会員一人一人が参加できるような運営形態を維持していくために、各区郡市本部の行事を後援した。
- (5)総会及び理事会の開催
  - ①通常総会を年2回、定款の定めるところにより開催した。
  - ②理事会を定款の定めるところにより開催した。
- (6)幹部中央研修会等のあらゆる機会をとらえて、連盟の運営等についての意見を広く掌握し、組織の充実・強化を図った。

日 付	事 業 名	会 場 名	参加者
平成 23 年 1 月 23 日	平成 22 年度幹部中央研修会	都空連事務所	20 名

- (7)斯道を通じて広く都民の体位向上と、青少年層に対する健全な心身の育成に重点を置き、区郡市本部を基盤とした本連盟の充実発展を図った。
- (8)生涯スポーツの視点から、中高年層への普及活動を積極的に行なった。
- (9)エンブレム、ネクタイ、ワッペンなどあっせんを行なった。
- (10)インターネットのホームページを活用し、広く情報収集・提供を図った。
- (11)公益法人制度改革において、ワーキンググループを設置し検討を重ね、一般社団法人への方向付けを行なった。